

育成モノづくり人材

Vol. 82

愛知県立豊川工業高校

愛知県立豊川工業高校は、全国で上位入賞の経験もある駅伝を中心に部活動が盛ん。1年生は全員がいずれかの部活動に登録し、ほ



水野校長

とんどが3年間続け、あいつなどの生活習慣が身につく。勉強に身が入るし、欠席者も少ない」と、水野智久校長は効果を説明する。学科は4学科だが、入学時は工業科で全学

【DATA】▷校長=水野智久氏▷所在地=愛知県豊川市▷学科構成=機械科、電子機械科、電気科、情報システム科▷生徒数=715人▷主要設備=マシニングセンター、CNC旋盤、3Dプリンターなど▷主な進路=トヨタ自動車、デンソー、新東工業、OSG、シンフォニアテクノロジー、横浜ゴム、A I H O、豊橋技術科学大学、愛知工業大学

1年次から「社会人」意識

科一括で募集する形式に2009年度から変更した。「1年次は基礎を裾野広く学んでもらい、2年次以降に各学科に分かれて専門性を高めて就職、進学につなげてほしい」（水



1年次からのインターンシップで社会人への意識を高める

担当者を招いた講演会や工場見学、分演別説明会などを3年次に年次を幅広く学び、2、3年次に選択科目で視野を広げるのも可能なため、また実習や課題研究

や電気工事などを中心に、愛知県大会を勝ち抜いて東海大会や全国大会に出る種目が増えている。コマを作成して対戦する大会では優勝候補の社会人チームに勝って会場にどよめきを起したこともある。技能五輪の世界大会で金メダルを取った卒業生も現れた。

近年は学校のホームページに女性専用コーナーを設けるなど、女子生徒を受け入れやすい環境を整えている。17年度入学者の女性比率は1割超で、デザインコースがない愛知県内の工業高校では高いという。

(名古屋・市川哲寛) (金曜日に掲載)